

事業所名

放課後等デイサービス事業所ぱすてるⅡ

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7

年

9 月

1 日

法人（事業所）理念		子どもから高齢者までともに見守り、支え合える地域づくりを目指します。								
支援方針		子どもたち一人一人に寄り添い、子どもたちが安心して楽しくすごすことができるような環境をつくれます。 子どもたちが自分の課題と上手く向き合い、自分らしく生きていくことができる力を育みます。								
営業時間			9 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・健康状態を把握します。 ・基本的生活スキルの獲得のために、自分で身支度や物の管理等ができるように支援します。 ・時間や空間が分かりやすいように構造化やルーティーン化し、生活環境を整えます。 ・毎月おやつづくりを行い、食への関心をもつことができますようにします。								
	運動・感覚	・様々な遊びや活動を通して、身体や手先を上手に使うスキルを身に着けられるように支援します。 ・一人一人の運動機能や感覚の感じ方に合わせて、遊びや活動を提案します。 ・力や疲れなどの調整を促し、自分で意識することができる力を育みます。								
	認知・行動	・空間や時間等の概念の形成を図ることができるように、視覚支援などを行い、見通しをもった自主的な行動につなげます。 ・自分の得意なことや苦手なことを知ることができるように支援し、自己理解を促します。 ・自分の気もちや行動に気づくことができるように支援し、上手にコントロールしようとするなど、適切な行動につなげます。								
	言語 コミュニケーション	・絵カードやロールプレイを用いたソーシャルスキルトレーニングを実施し、コミュニケーションについて学ぶことができますようにします。 ・自分の気持ちや思いを上手に相手に伝えられるよう、場面や相手の状況に応じた適切なコミュニケーションを促します。 ・ソーシャルスキルトレーニングや集団遊びのなかで、ジェスチャーや表情、アイコンタクトなど非言語によるコミュニケーションの方法を学べるようにします。								
	人間関係 社会性	・活動や集団遊びのなかで、ルールや役割を意識して友だちと協同したり、他者の気持ちや意図を理解して適切に行動したりできるように促し、社会のなかで必要なソーシャルスキルを獲得できるよう支援します。 ・自分の感情や気もちに関心をもち、コントロールしたり切り替えたりすることができるように支援します。								
家族支援		・保護者の方に、ぱすてるⅡでのお子様の様子をこまめに伝えるとともに、保護者の方から、お子様のご家庭、学校での様子や心配などについても伺い、関わり方の工夫と一緒に考えます。 ・保護者同士の交流の機会や、きょうだいが交流する機会を設けます。					移行支援		切れ目のない支援を継続できるよう、移行先や関係機関にお子様の発達や支援経過、支援方法等に関する情報を共有し、地域の教育の後方支援を行います。	
地域支援・地域連携		・保育、教育、福祉、医療等の関係機関と連携し、子どもたちのより良い成長につなげます。 ・地域の行事に参加したり、地域のお店で買い物学習をしたり、公共施設を利用したりし、地域資源を活用するとともに、地域との交流を図ります。					職員の質の向上		外部研修の受講や事業所内研修を実施し、職員の専門的な知識やスキル、支援の質の向上を図ります。	
主な行事等		避難訓練（月１回）、季節行事、遠足、買い物学習、きょうだい交流イベント（年１回）、保護者参観イベント（年２回）								